



公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会

Kagoshima Physical Therapy Association

No.95(134)
2022.10.17 発行

総会員 2378 名 (9/29 現在) URL:<http://infokpta.com/>

E-mail:infokpta@po.minc.ne.jp



戸ヶ峯海岸 (指宿市)

コンディショニングルーム運営協力者募集	2~
3	
研修会報告 (公益事業部)	
4	
研修会報告 (障がい児・者福祉部)	
5	
研修会報告 (学術部)	
6	
鹿児島・奄美地区 症例検討会 研修会 報告	7~
9	
南薩地区症例検討会 報告	
10	
大隅地区症例検討会 報告	

◆発行：公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会

◆発行人：平名章二

◆編集：原口拓人

◆事務局：〒890-0063
鹿児島県鹿児島市
鴨池1丁目48-25

TEL：099(203)0860
FAX：099(203)0865

燃ゆる感動 かがしま大会

特別全国障害者スポーツ大会 熱い鼓動 風は南から 2023

2023年燃ゆる感動かがしま大会(特別全国障害者スポーツ大会)での コンディショニングルーム運営協力者募集

鹿児島県理学療法士協会会長 平名 章二
鹿児島県理学療法士協会専門領域理事 大渡 昭彦

2023年10月28日(土)～10月30日(月)に鹿児島県がホスト県になり燃ゆる感動かがしま大会(特別全国障害者スポーツ大会)が開催されます。全国障害者スポーツ大会は、各都道府県・指定都市から約3,500人の選手が参加する、日本最大級の障がい者の競技大会です。鹿児島県下、14会場にて15競技が開催されます。

鹿児島県理学療法士協会として、公式練習日(10/27(金))

および大会期間中(10/28～10/30)に

○陸上競技

(白波スタジアム, 鹿児島市)

○水泳

(鴨池公園水泳プール, 鹿児島市)

○車いすバスケットボール

(いちき串木野市総合体育館, いちき串木野市)

○ソフトボール

(知覧平和公園多目的球場, 南九州市)

○フットベースボール

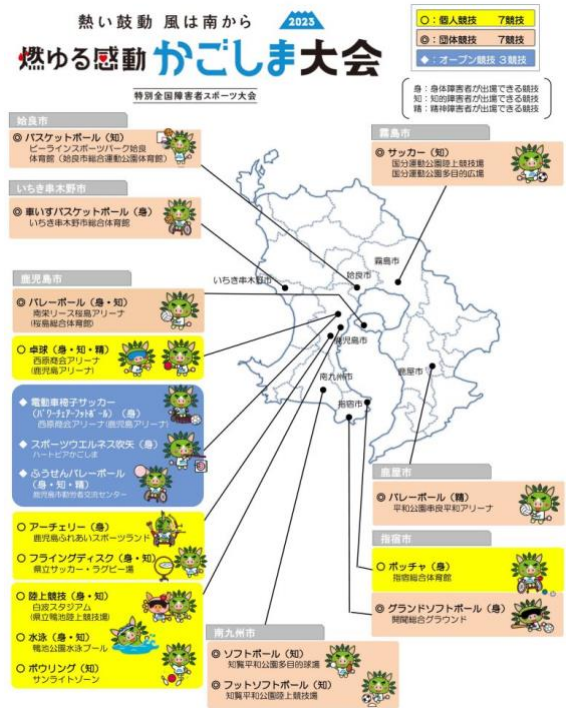
(知覧平和公園陸上競技場, 南九州市)

○サッカー(知)

(国分運動公園陸上競技場, 霧島市)

○ボッチャ(身)

(指宿総合体育館)



計 7 競技 (7 会場)

のコンディショニングルーム運営に携わる予定です。この運営を行うにあたり、担当する7会場で約3～4日間で延べ人数200名弱(概算)の会員の協力が必要です。

コンディショニングルームとは、参加する選手が万全の状態での競技に臨めるように、競技付帯サービス提供として「選手のからだをほぐしたり、競技前後の筋肉の疲労回復を図ること」を目的に設置されます。

コンディショニンググループ運営協力者の申し込み先は、
(<https://forms.gle/sTRqKYXixNk8tvS2A>)もしくは、右の二次元バーコード
にアクセスいただき、登録をお願いいたします。



鹿児島県側への報告等の関係もあり

★申し込み締め切り:令和4年11月30日(水)

その後の追加募集は現時点で行う予定はありませんので、ご注意ください。

また、2020年度に開催予定でした第20回全国障がい者スポーツ大会時にご協力者で申し込みいただきました方も登録情報取り消しになっておりますので、改めまして再度こちらに登録していただきますようお願い申し上げます。

また、「全国障がい者スポーツ大会について」や「コンディショニンググループ運営」に関して、事前説明会を実施したいと思っております。参加してみたいけど、どのような大会なのか、どのようなことを行うのか情報提供を行い、また皆さまからの質問等を受けたいと思っております。

日時:令和4年11月上旬～中旬 平日 19:00～20:30

19:00～19:30 「全国障がい者スポーツ大会について」

19:30～20:00 「コンディショニンググループ運営について」

20:00～20:30 質疑応答

場所:オンライン(Zoom 使用)

※詳細の日時決まり次第、鹿児島県理学療法士協会のホームページで案内掲載いたします。

多数の会員の方々にご協力いただけましたら幸いです。よろしく申し上げます。

問い合わせ先

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 専門領域障がい者スポーツ領域担当

鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻 松田 史代

E-mail:kpta.zensupo2020(@)gmail.com

(迷惑メール防止のため、送信時は(@)の()を外して送信下さい)

研修会報告(公益事業部)

公益事業部担当理事 神田 勝利
公益事業部部長 岩森 俊
公益事業部 上川 毅康

介護予防シンポジウム 2022 を 8 月 22 日 19 時よりに完全オンラインにて開催致しました。

県内で介護予防・健康増進事業に先駆的に取り組まれている市区町村からの事業運営の手順や経過、活動を通して見えてきた課題などについて発表して頂きました。

鹿屋市では自主運営しているサロンのサポートやシルバーリハビリ体操の導入について、垂水市は限られた医療資源の中における地域リハビリテーション活動支援事業の取り組みについて、日置市では介護予防事業を通じてのリハ職のスキルアップ及び、地域づくりに付与していく展望について紹介して頂きました。

今年度はトピックスとしてヘルスコミュニケーション(介護予防編)にて介護予防の現場でどの様なことに配慮すれば良いか、健康教育の発展過程等についてご講演頂きました。

今回のシンポジウムを通し、手順・経過・課題などを共有することにより、様々な学びや気づきを得ることができ、参加者の皆様が地域で活躍するための一助となったのではないかと思います。

今後も会員の皆様の臨床に生かせる研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくお願い致します。今回の介護予防シンポジウム参加者は 70 名でした。



研修会報告(障がい児・者福祉部)

障がい児・者福祉部
小山 尚宏

日時:令和4年度7月30日(土) 10:00~11:30

令和4年度8月7日(日) 10:00~11:30 ビデオ開催(録画放送)

形式:Web開催(ZOOM)

テーマ:こどもの足の特徴と靴の選び方

講師:株式会社L-はびねす あうりんこ HOUSE

理学療法士 下島 和也 先生

対象:保育・幼稚園関係者、療育関係者、保護者等

参加者:計 89 端末(1端末から複数人参加を含む)

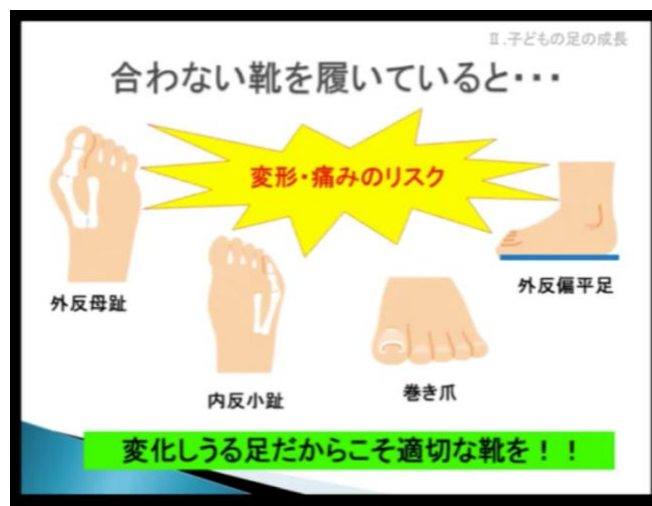
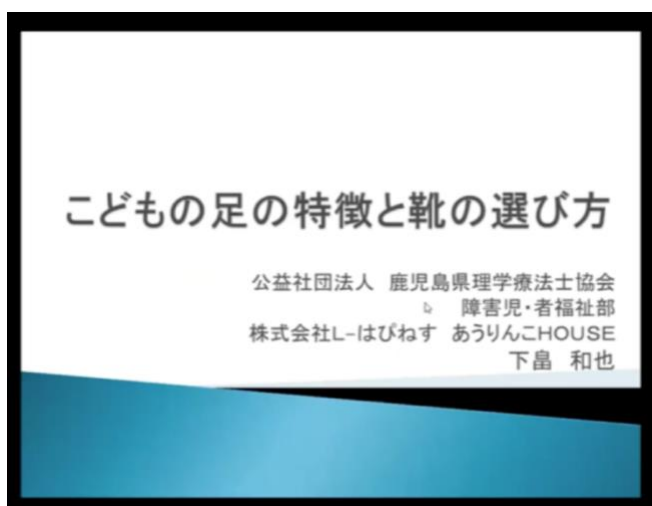
障がい児・者福祉部では、主に一般の方を対象に年2回の研修会を計画しています。

今回は、県内全域の保育・幼稚園施設(こども園含む)や療育施設(メール連絡可能な)に個別に広報を行いました。Web開催形式となったことで、離島など様々な地域から参加者があり、2日間で89端末(参加者は100名以上)と多くの参加をいただきました。

講師の下島先生には、幼児期・学童期の悩み事の一つである靴の選び方について、こどもの解剖学・運動学的な足の特徴から分かりやすく説明をしていただきました。

参加者のアンケート結果からも「大変わかりやすかった」「今後も定期的に理学療法士の先生に教えてもらいたい」など好評の声を多数いただいています。

今年度第2回も計画が進んでおり、今後もビデオ開催などの開催方法も含め、参加対象者のニーズに応じた研修会を企画・開催していきたいと思えます。県民の健康増進・健康発達を目的に、部員全員で協力して部会活動に取り組んでいきます。今後ともよろしく願いいたします。



研修会報告(学術部)

学術部 部長
川田 将之

研修会報告(学術部)

○鹿児島県理学療法士協会学術部研修会

タイトル:運動器疾患における歩行障害の評価と治療 -股関節障害を中心に-

講師:建内 宏重先生(京都大学)

日時:2022年7月24日(日) 9:30 - 16:40

参加者:98名

タイトル:内部障害に対する理学療法の進め方の基本

講師:大重 匡先生(鹿児島大学)坂元 将也先生(谷山生協クリニック)宇都 良大先生(霧島市医師会医療センター)

日時:2022年8月21日(日) 9:30 - 16:40

参加者:59名

○日本理学療法士協会 理学療法士講習会

タイトル:包括的な心身機能の維持・向上を目指した介護予防活動の基本と実践

講師:牧迫 飛雄馬先生(鹿児島大学)

日時:2022年8月7日(日) 9:30 - 16:40

参加者:68名

7, 8月に令和4年度学術部研修会および理学療法士講習会が上記の通り、計3回開催されました。全て Zoom を使用したオンライン形式での講習会となりました。休日にも関わらず、多数の会員にご参加いただきました。

各講習会においては、それぞれの分野でご活躍されている講師の方々に基本的な知識や最新の知見から、臨床ですぐに役立つ情報まで、非常に内容の濃いお話をしていただきました。合計6時間という長時間の講習会ではありますが、その分情報量も多く、得るものも多い研修会であったと思います。

今年度より新生涯学習制度が開始となりました。新制度導入の主旨である生涯にわたる知識・技術の維持・向上に貢献できるよう、鹿児島県理学療法士協会学術部もより新しく有益な研修会を行えるようアップデートを図っていきたいと考えております。

鹿児島・奄美地区 症例検討会報告

鹿児島地区長
五十峯 淳一
東 幸太

2022年度の鹿児島地区症例検討会を9月2日にWeb開催致しました。

今年度より新生涯学習システムに移行し会員の方々への周知も不十分ではありましたが症例は票にご登録頂きました先生方には感謝いたします。

今回の開催は神経系のみでの症例検討会になりましたが開催時間も一症例30分という取り組みに御意見やアドバイス、質問も活発にありとても良い症例検討会になったのではないかと考えております。

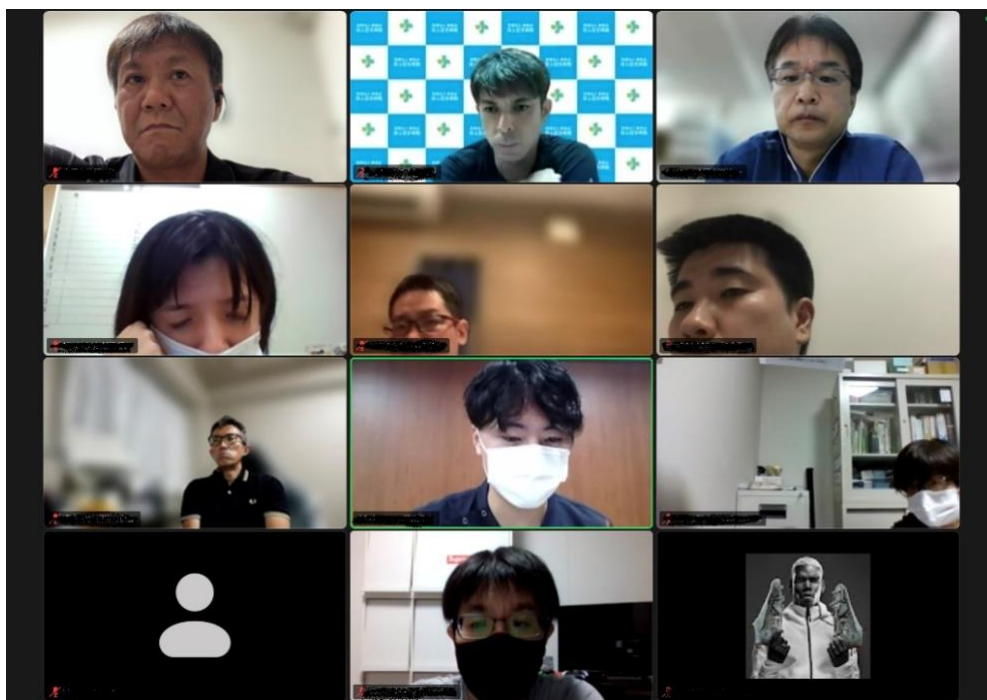
今回の発表は「転倒不安感に対して部分免荷を行うことで積極的な歩行練習が可能となり歩行獲得へと至った一症例」という演題で田上記念病院の平田 晃士先生に脳卒中の患者様に対してのウェルウォークを使用しての改善についての発表でした。評価もしっかりされており治療成績も良好で今後の治療に更に繋げていただけたらと思います。



近年は、残念ながらコロナ禍で地区の症例検討会や研修会をWeb開催という形で行っておりますが参加者の方々もこのスタイルにも慣れ参加しやすい状況も構築でき、離れた地域からの参加も可能になり色々な意味で進歩できたのではないかと考えます。今後はハイブリッド方式など対面とオンラインを有効に活用し良い地区活動に繋げていきたいと考えております。今後も鹿児島地区研修会を1月10日(土)9:00～ 鈴木 伸洋 先生を講師に迎え神経系の治療および考え方について研修会を予定しております。若い会員の方でも即、臨床で応用できるような治療実技の紹介で、例年鹿児島地区では講師の先生が実際の現場で体験された症例における、評価から治療介入に至るプロセスと、改善点のご紹介を頂く形で開催しております。今後も鹿児島地区では症例検討会を1月13日(金)19時～開催予定です。多くの会員

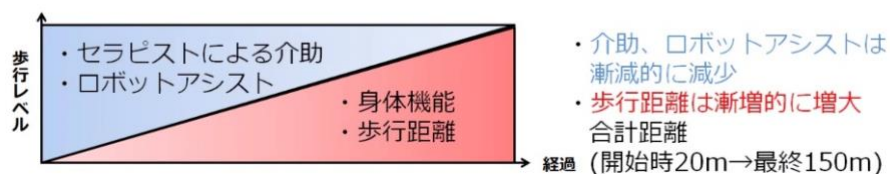
の方々の参加をお待ちしております。今回はE-1神経系、E-2運動器系3症例ずつ開催予定です。会員の方々の参加をお待ちしております。

また会員の皆様に新生涯学習システムの各個人の内容を是非マイページで御確認をお願い致します。



歩行獲得についての考察

第51病日よりWW歩行練習の導入が可能



平地歩行練習



転倒不安感が軽減し積極的な歩行練習が可能となったことで
麻痺の改善と下肢の支持性が向上し、歩行獲得へ



鹿児島・奄美地区 研修会報告

奄美地区長
當田 直哉

2022年度の第1回奄美地区研修会を令和4年9月3日にリモート開催という形で行わせて頂きました。講師は、名瀬徳洲会病院の 幸田 康宏 先生(運動器認定理学療法士)に、『腰痛治療の臨床推論』というテーマでお話し頂きました。

参加者数は20名程でしたが、リモート開催という事で離島の奄美地区協会員にとっては移動距離ハンディを解消できるという事もあり、例年より参加しやすい研修会となったのではないかと思います。また、鹿児島地区からの参加者もあり、よい交流の場となることもできたのではと思います。

研修会の内容としては、腰椎・骨盤の基本的な解剖運動学から、腰痛の病態・評価、実際の治療へと幅広く講義して頂きました。画面越しではありますが、実際の治療も披露して頂き、大変有意義な3時間となりました。臨床推論をしっかり行うことで、より精度の高い治療アプローチを提供することが可能となるという事を改めて認識することができたのではないかと思います。

腰痛治療の臨床推論

名瀬徳洲会病院 リハビリテーション科
理学療法士 幸田 康宏

コンテンツ

1. なぜ腰痛治療に臨床推論が必要か
2. 腰痛の病態
3. 腰椎・骨盤の機能解剖
4. 機械的腰痛の病態
5. 機械的腰痛の評価と治療

前屈動作の異常パターン(矢状面)

筋・筋膜炎腰痛	腰椎椎間板ヘルニア(L4-5)
<ul style="list-style-type: none">・胸腰椎過屈曲・骨盤前傾の制限・骨盤後方偏位↑ <p style="color: red; font-weight: bold;">股関節可動域制限</p>	 <ul style="list-style-type: none">・胸腰椎フラット・下位腰椎過屈曲・骨盤後方偏位↑ <p style="color: red; font-weight: bold;">胸腰椎可動域制限 股筋群機能不全</p>

研修会計画当初は、対面とリモートを併用したハイブリット開催にて計画をしていましたが、コロナ第7波が収束をみせず、やむを得ずリモート開催となってしまいました。今回は、対面での開催は出来ませんでした。今回は、対面での開催は出来ませんが、コロナ状況を鑑みながら対面での研修会開催を改めて計画し、私たちが会員の皆様に何が提供できるか模索して、より良い研修会や症例検討会を提供できていけたらと思います。

今後は奄美地区症例検討会(令和5年1月27日(金)19:00～)、第2回奄美地区研修会(令和5年2月頃)を開催予定しております。症例発表者申し込み締め切りが、令和4年12月23日となっております。多数の申し込みをお待ちしております。

南薩地区症例検討会報告

南薩地区長
原野 信人

8月25日に第2回目、9月21日に第3回目の研修会と症例検討会をZoomにて開催致しました。

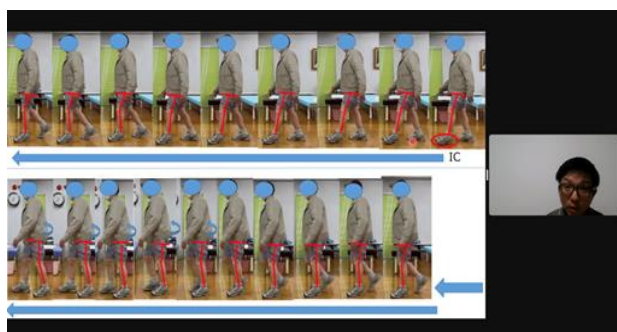
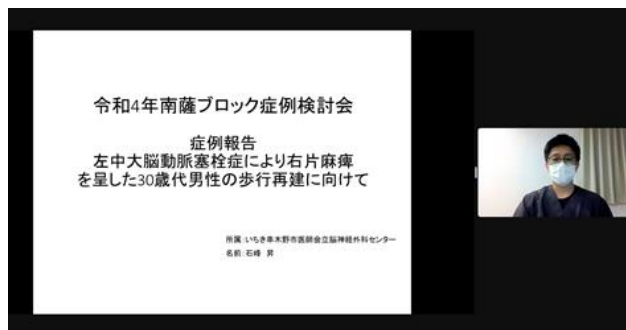
第2回研修会には38名のご参加を頂きました。徳久整形外科の有馬直也先生に「変形性膝関節症の歩行観察症」をテーマに、力学的視点から考えられることをポイントとして評価から治療までの展開をわかりやすくお話頂きました。

第3回研修会には32名のご参加を頂きました。いちき串木野市医師会立脳神経外科センターの淵上祐一先生に「電気刺激・振動刺激を用いた併用療法について」をテーマに、各療法の基礎、治療場面、デモンストレーションまでお話し頂きました。

いずれの研修会も臨床での経験を踏まえ興味深い内容でありました。講師を引き受けて下さいました有馬先生、淵上先生有難うございました。

各回1症例30分の症例検討会を実施致し、参加された先生方からのご意見やアドバイスを頂きながらの意見交換が行われました。発表者・座長の先生方有難うございました。

今後も南薩地区研修会・症例検討会への皆様のご参加をお願い致します。



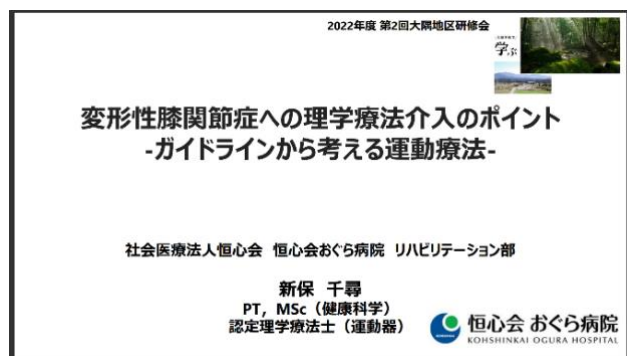
大隅地区 研修会 報告

始良・大隅地区担当理事 榎畑 純二
大隅地区長 永瀨 良太

2022年度の大隅地区第2回研修会を9月16日に完全オンラインで開催いたしました。
理学療法ガイドラインについて、2021年8月に第2版が出版されましたが、科学的根拠に基づいた理学療法を行っていくうえでは、リスク管理も含めた適切な判断への近道の一つと考えております。今年度の研修会開催に向けて大隅地区リーダーの方々とは検討した結果、最新のガイドラインについて抑えておく必要があるのではとの御希望をいただき、今回の研修会を企画いたしました。

今回は「変形性膝関節症への理学療法介入のポイントーガイドラインから考える運動療法ー」として、社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院 新保千尋先生に御講演いただきました。内容としまして、変形性膝関節症のガイドライン・運動療法について、立ち上がり動作戦略や立ち上がり動作へのアプローチ例等をお話いただきました。理学療法ガイドラインだけではなく、ACRガイドライン・OARSIガイドライン等も提示いただき、運動療法・セルフマネジメントの重要性も再認識いたしました。

今回の参加者は53名でしたが、登録理学療法更新、認定・専門理学療法士更新履修者25名、前期・後期研修履修中の方も28名参加いただきました。新生涯学習制度についての理解がまだ不十分な会員の方もおられます。研修会等に参加していただきながら、徐々に御理解いただければと思っております。



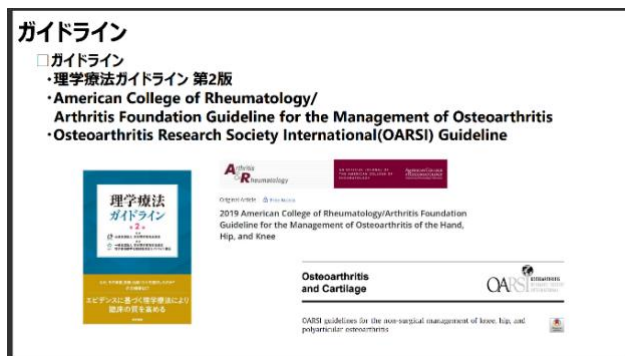
2022年度 第2回大隅地区研修会

変形性膝関節症への理学療法介入のポイント -ガイドラインから考える運動療法-

社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院 リハビリテーション部

新保 千尋
PT, MSc (健康科学)
認定理学療法士 (運動器)

恒心会 おぐら病院
KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL



ガイドライン

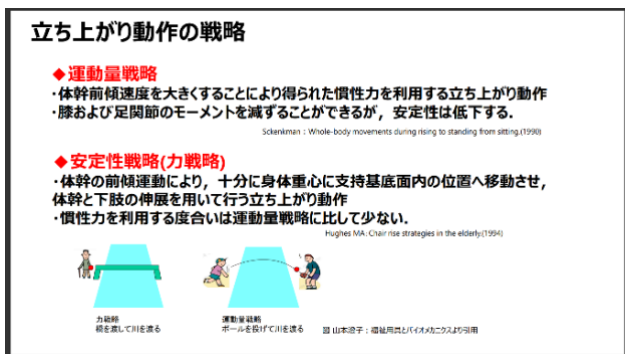
- ガイドライン
 - ・理学療法ガイドライン 第2版
 - ・American College of Rheumatology/ Arthritis Foundation Guideline for the Management of Osteoarthritis
 - ・Osteoarthritis Research Society International(OARSI) Guideline

理学療法ガイドライン 第2版

2019 American College of Rheumatology/Arthritis Foundation Guideline for the Management of Osteoarthritis of the Hand, Hip, and Knee

Osteoarthritis and Cartilage OARSI

OARSI guidelines for the non-surgical management of knee, hip, and polyarticular osteoarthritis

立ち上がり動作の戦略

- ◆運動量戦略
 - ・体幹前傾速度を大きくすることにより得られた慣性力を利用する立ち上がり動作
 - ・膝および足関節のモーメントを減らすことができるが、安定性は低下する。

Sklarman : Whole-body movements during rising to standing from sitting (1998)
- ◆安定性戦略(力戦略)
 - ・体幹の前傾運動により、十分に身体重心に支持基底面内の位置へ移動させ、体幹と下肢の伸展を用いて行う立ち上がり動作
 - ・慣性力を利用する度合いは運動量戦略に比して少ない。

Hughes MA: Chair rise strategies in the elderly (1994)

九股脚 膝を曲げて肘を後ろ
運動量戦略 ポールを掛けて肘を後ろ
山本浩子：高齢者用椅子の立ち上がり

次回、11月10日に大隅地区症例検討会(オンライン)、12月1日に第3回大隅地区研修会「股関節疾患への歩行アプローチについて(仮)」(オンライン)開催予定です。

令和4年度 始良地区 症例検討会 演題募集について

始良地区理事 弥栄 博文
始良地区長 増山 泰英

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
始良地区の活動におきまして、症例検討会 演題募集のご案内を申し上げます。
募集要項については、下記内容をお確かめの上、ご応募お願い致します。

記

日程:第1回令和4年11月17日(木)18:30~19:10

第2回令和4年12月15日(木)18:30~19:10

第3回令和5年1月19日(木)18:30~19:10

第4回令和5年2月16日(木)18:30~19:10

場所:webにて開催予定(ZOOMにて開催予定)

<症例発表演題 募集要項>

1. 応募資格 鹿児島県理学療法士会会員 後期研修対象
2. 応募方法 下記の連絡先へ必要事項を記載し A4用紙1枚の抄録を添付提出
3. 応募締切日
第1回:令和4年11月9日(水)まで
第2回:令和4年12月7日(水)まで
第3回:令和5年1月11日(水)まで
第4回:令和5年2月8日(水)まで
※先着順1症例/月の発表対応を考えております
4. 発表形式 パワーポイントでのプレゼン方式(発表20分 質疑応答10分)

*履修ポイントについて

後期研修: E(事例) 発表 1コマ履修

*倫理指針について

発表者は必ず施設の倫理委員会の審査もしくは所属長の許可を得て発表するようお願い致します。

申し込み先: 医療法人 玉昌会 加治木温泉病院 増山 泰英

E-mail :rihabiri@gyokushoukai.com

発表者: E-mailに件名「始良地区 症例発表演題 申し込み」と明記

下記の必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

①会員番号(8ケタ) ②氏名 ③フリガナ ④勤務先 ⑤生年月日(西暦)

⑥令和4年度 会費納入状況の有無

⑦症例発表者は下記のいずれかを記載する

後期研修 E(事例) E-1:神経系理学療法 E-2:運動器系理学療法 E-3:内部障害系理学療法

*発表者には事前に詳細(ZOOM URL、パスワード等)をメールでお知らせします。

令和4年度 第2回 始良地区研修会のお知らせ

始良地区理事 弥栄 博文
始良地区長 増山 泰英

令和4年度 始良地区研修会についてご案内いたします。
会員皆様の多数の参加をお願いいたします。

日時 : 令和4年 10月 27日 (木) 19:00~20:00 Web開催 (ZOOM)
(18:50~ミーティングルームが開きます)

テーマ : 『脳卒中に対する理学療法』(60分)

講師 : 隼人温泉病院 山田隆治 先生
脳卒中/運動器認定理学療法士

履修ポイント or 点数 : どちらを付与するか選択となります。

○登録更新ポイント (1ポイント:カリキュラムコード77 中枢神経疾患の理学療法)

○認定・専門更新点数 (1点)

申し込み方法 : 下記のQRコードを読み取り、研修会申込フォーム入力にてお申し込み
ください。

右記のURL からでも研修申込出来ます。 <https://forms.gle/HsCEe26A1XC8EqjG7>

申し込み締切 : 10月20日 (木)

研修
申込
フォー
ム



参加には事前申し込みが必要となります。

事前申し込み完了者へ、研修会前に視聴 zoom の URL ・研修会資料を送信いたします。

研修会参加については、会費納入がお済みの方を必須といたします。

納入がお済みでない方は、手続きのほどよろしくお願いたします。

問い合わせ先 : 加治木温泉病院 増山 泰英

TEL : 0995-62-0001 E-mail : rihabiri@gyokushoukai.com

私と私の職場紹介

医療法人 博悠会 博悠会温泉病院
田口 光

コロナコロナとコロナに追われておりますが、鹿児島県理学療法士協会会員の皆様、健康第一！⇒自己免疫を高めて、みんなで乗り越えましょう。閑話休題。今回は、私の職場であります「医療法人 博悠会 博悠会温泉病院」の紹介をさせていただきます。当院は、日置市東市来町に 1989 年開院、高齢者医療を中心に保健・医療・福祉を提供しております。名前の通り天然温泉かけ流しで、患者様・ご利用者様から好評を得ております。リハスタッフは、PT8 名、OT6 名、ST4 名です。経験年数 30 年以上の超ベテラン先生のお陰で、コロナ禍においても実技練習が院内で成立する等、スタッフに恵まれた環境です。現在、療養病棟 30 床・介護医療院 120 床(現在の所、日置市唯一の介護医療院&鹿児島県イチのベッド数)、外来、通所、訪問と、幅広くリハビリテーションを提供しております(訪問リハは 2002 年からスタート)。俗にいう維持期(生活期)高齢者に対し、積極的リハビリテーションに挑戦し続けております。人生百年時代到来に対するチャレンジとして、『HBT』(平行棒トレーニング)と、DAIGO(ダイゴ)さんのダジャレに負けないプロジェクト名を作り、古典であります Hirschberg 先生の Sit-to-Stand training を、センテナリアン(centenarian)のリハビリテーションとしてパッケージ化して活用すべく、日々、実践的検討を行っております(第 7 回・8 回 日本慢性期リハビリテーション学会にて発表)。また、「学び」にも力を入れており、臨床実習指導者研修 PT スタッフ 100%修了、3 学会合同呼吸療法認定士(6 名取得)、ケアマネージャー(3 名取得)、その他、専門理学療法士(旧分類:神経・運動器・教育管理・生活環境支援)取得。日本抗加齢医学会認定指導士等など、様々なチャレンジを自ら行うスタッフが集まっております。地域貢献も日置市主体の活動がスタートする以前から、独自に取り組んでおり、その後、日置市や日置市内医療機関と協働活動を行い「筋ちゃん広場」(介護予防推進支援モデル事業)の一役を、現在も担わせて頂いております。

私は、2000 年入職、その後、教員として勤務させて頂き、博悠会温泉病院再入職。現在に至っております。今後とも会員の皆様と一緒に成長出来れば幸いに存じます。



私のおすすめ

鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科 専任教員
白元 勇次郎

今回、私がおすすめる書籍は、「MOVEMENT」です。著者の Gray Cook は、アメリカの整形外科専門医師会認定の理学療法士であり、大学やプロレベルの様々なスポーツを経験している方です。

私自身は、整形外科・スポーツ領域を主軸としていますが、その活動の根源になるような素晴らしい内容が記載されています。私は小手先のテクニックよりも客観的な指標や考え方を重視しており、基本的に忠実に、患者・選手に関わっていきたいと考えております。私と同じような考えをお持ちの方には是非とも読んでいただきたい一冊です。

書籍のメインの内容は、動作の質的測定を行うためのシステム「Functional Movement Screen : FMS」と「Selective Functional Movement Assessment : SFMA)」を紹介するものです。これらは、様々な対象者の動作パターンを調べ、一貫性のある基準を用いて問題の有無を判断する方法と、その問題を修正するために適切なエクササイズを処方するヒントが得られるものになっております。日本においても FMS は、プロのアスリートだけでなく一般のスポーツ愛好家にも行われるようになってきておりますが、まだまだ十分に認識されていないのが現状です。

メインの部分も素晴らしい内容なのですが、この書籍の中で私のお気に入りには他にあります。それは 1 章～4 章までの MOVEMENT に関する考え方の部分です。この導入の部分で約 60 ページあり、内容も簡単ではありませんので、心が折れてしまう可能性も否定できません。しかし、この部分には、「動作を行う土台の重要性」「動作の欠陥や機能不全による影響」「痛みによる動作への影響」など、考え方の非常に素晴らしい内容となっております。読み進めていきますと、「運動機能障害症候群のマネジメント」(著者: Shirley A. Sahrman)と似通った部分もございます。これを機会にご一読いただき、皆様のお役に立てれば幸いです。



先輩認定理学療法士よりアドバイス

認定理学療法士 脳卒中
厚地リハビリテーション病院
尾辻 珠世

◆取得しようと思ったきっかけ・分野について

認定理学療法士を目指したのは6年前になります。私の勤めている病院は回復期で主に脳卒中の患者様が多く「どうしたら上手く歩けるようになるか」「在宅復帰するためには日常生活動作を考え、どのようなアプローチを行えばいいか」など、当時4年目だった私は悩んでいました。県内外の治療勉強会に多く参加していく中で認定理学療法士を取得している方と出会い、興味を持ちました。私も認定理学療法士を取得することでスキルアップにもなり新しいことを発見でき今後のアプローチにも活かせるのではないかと思い、取得を目指しました。

◆研修会受講・試験への対策について

取得を目指した際、日本理学療法士協会のホームページから取得方法について調べました。その際に研修会の受講案内もあり、当時は県外での開催もあったため職場のスタッフ数名で車を乗り合わせて行っていました。試験への対策については研修会での資料からの出題になるので何度も何度も読み返し理解を深めていきました。過去問題集などもないのでどんな問題がでるのだろうと不安でいっぱいでした。資料をしっかりと読み込むことがポイントだと思います。

◆認定理学療法士を取得して

認定理学療法士を取得し、取得する為に様々な研修会に参加したことで学術的にも技術的にもスキルアップができたと思います。また、自信にも繋がり患者様への治療に対しての幅も広がりやりがいを感じています。

◆今後の目標など

認定理学療法士を取得し3年となりました。その間に臨床現場を離れる時期もあり、コロナ禍の中、以前と比べ研修会への参加が減ってきているのが現状です。2年後には認定理学療法士の更新時期にもなりますので、この状況の中でモチベーションを落とさずに自己研鑽に励み、今後も認定理学療法士としてスキルアップできるように頑張っていきたいと思っています。

事務局より 令和4年8月1日～令和4年9月30日現在受理分

役員行動録

- 8/2 県連盟役員会出席(平名)
- 8/6 POS 連絡協議会企画局会議(平名・生駒・東條)
- 8/22 公益事業部 介護予防シンポジウム 事務局対応(東條)
- 8/23 POS 連絡協議会リーダー運営会議(弥栄・生駒・東條)
- 8/27 日本理学療法士連盟会議出席(平名)
- 8/31 会計事務所打ち合わせ(東條)
- 9/3 会員関連弔事出席(平名)
JPTA 都道府県事務局長会議(東條)
- 9/3-4 臨床実習指導者講習会講師(生駒)
- 9/6 県障害者介護給付等不服審査会総会(平名)
- 9/8 自民党県連要望打ち合わせ(平名)
- 9/12 3役会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 9/14 理事会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 9/20 学術局意見交換(平名)
- 9/22 始良市地域ケア会議(東條)
- 9/26 県リハ施設協議会総会(平名)
- 9/29 第1回九州ブロック事務局長会議(東條)

所属施設の変更・自宅住所の変更等により会員登録に変更が生じた場合は、速やかにマイページより異動手続きをお願いいたします。施設情報の変更は、施設代表者がマイページにログインし手続きを進めてください。

研修会参加は会員であることが必須要件です。
入会手続きについては、日本理学療法士協会ホームページをご参照ください。

研修会については、鹿児島県理学療法士協会ホームページ等で案内いたしますのでご確認ください。

～編集後記～

本格的に秋シーズンに入り、「〇〇の秋」となる時期になりました。私は最近、父の影響から釣りに出かけるようになり釣れたときの喜びを感じております。未だ感染予防に注意を払いながらではあるかと思いますが、皆様方におかれましても食欲、スポーツ、芸術など様々な秋を楽しまれてみてはいかがでしょうか。朝晩がすっかり涼しくなり、日中との気温差も大きいので体調を崩されないようくれぐれもご自愛ください。

今後もより良いものを発信していけるよう努めて参ります。広報誌に関してご意見等ございましたら、編集部まで連絡をよろしく願いいたします。

編集部 寺師 はるか

E-mail: rihabiri@gyokusyokai.com